骨材/耐火性

座長:佐川孝広(土木),小島正朗(建築)
2024年6月26日(水) 13:00 〜 15:00 第3会場 (第1・2会議室)

[1143]ポストテンション方式 PC部材の耐火性能評価

白石真由奈[1], 東洋輔[1], 旭澤広輝[2], 小澤満津雄[2] (1.オリエンタル白石 2.群馬大学)
キーワード：火害、PC、シース、グラウト、耐荷性能、示差熱分析

本研究ではポストテンション方式の PC部材に着目し，シースおよびグラウトが火害を受けた場合の性状把握を目的として，グラウトの加熱試験および化学分析や， PC梁の加熱試験に加え，火害後の PC部材の耐荷性能評価を実施した。その結果，グラウトの TG-DTA分析によって受熱温度が CHおよび CaCO3の分解温度以上かの判定ができること， PEシースが融解すると膨張圧が発生する可能性があること，火害後の PC部材の耐力低下は超音波伝搬速度を用いたコンクリートの物性評価により凡そ推定できることがわかった。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会